

平和や命の大切さに関する学習と教育の薦め（私案）

横須賀市教育委員会 教育委員 小柳茂秀

【総論】

人や情報が国境を越えて地球規模で交流するグローバル化が進む一方で、未だ世界各地で紛争は絶えず、武力やテロで相手を威嚇することにより政治的な紛争を解決しようとする国や組織もあります。また、日本を取り巻く国際情勢が緊迫の度合いを深め、日本が紛争に巻き込まれる危険が高まる中で、命の尊厳を共通価値とする平和で持続可能な国際社会を創造していく子ども達を育成する重要性がますます高まっています。

平和を尊ぶ諸国民の公正と信義に基づき世界に平和がもたらされ、いつの日か戦禍がなくなることは、万民共通の願いであり、日本国憲法の根幹をなす理念です。しかしながら、確かな人権教育を基礎とした平和や命に関する学習なくして、この願いは叶いません。我が国は、先の大戦を悔悟して、恒久の平和を希求しつつ、戦後の荒廃から立ち上りました。更に国際社会の一員としての役割を果たし、自由や人権を尊重する平和国家となるべく努力を続けています。横須賀市も、平成元年に「核兵器廃絶・平和都市宣言」をし、国際平和意識の普及と高揚のため、いくつかの事業を継続的に実施しています。そして今まさに、戦争遺跡を保存・活用し、歴史教育や平和学習に生かそうとしています。このような平和を愛する郷土や国を誇りに思い、平和や命を尊ぶ心を導き育てることこそ平和に関する教育の真髄であり、教育基本法の主眼の一つです。

また、子ども達がバーチャルな世界で遊ぶ時間が増え、生身の痛みを知る機会が減り、自他の身体や生命を軽んずる事件が後を絶たないことも念頭に置きつつ、次の世代を担う児童・生徒に、人類が歩んできた戦争の歴史やその惨禍、平和や命の眞の尊さを教え、対話により紛争を解決する素養を育てることが肝要です。

横須賀で育った児童・生徒が、自他の命を大切にする信念を心に、世界平和の原動力となる姿を思い描きつつ、教職員と保護者と地域が力を合わせて子ども達を育んでいきましょう。

【付言】

平和や戦争については様々な意見や考えがあり、教育現場での取り扱いに悩む教員も少なくないと思います。しかし、児童・生徒にとって、平和に関して学ぶことは、非常に重要であり、教育を受ける権利の観点からも、しっかりととした取り組みが求められています。初等・中等教育の現場では、いくつかの考え方があることを事実として教え、教員自身の主観的な考えは、児童・生徒に教示すべきではないと多くの教育識者が論じています。この点に留意しつつ、しかし果敢に、適切で創造的な平和や命に関する教育活動を展開して欲しいと思います。

【各論】(学習プラン例)

		総合的な指針	道徳的な指針	社会科的な指針	手法・教材等 (音楽を含む)
小学校	低学年 1, 2年	一人一人の大切さに気づく。	命の大切さを理解し、人の痛みを感じることができるようになる。	ゲーム等のバーチャルな世界と現実の違いを理解する。	動画・読書・読み聞かせ・音楽※1等
	中学年 3, 4年	自分と相手を大切にし、自他ともに肯定感を持てるようにする。	集団活動における自分の役割を理解し、周囲の人々の思いと調和させる寛容の心を育む。	自分たちの地域社会における戦跡に触れ、その役割を学習する(地域探求学習)。	見学(中央公園の平和モニュメント、ルートミュージアム等)、写真撮影(学習係)、図画工作、絵画等
	高学年 5, 6年	相手を思いやる心とともに公共の精神を養成する。	学級問題や友人とのトラブルを、威迫や暴力的な方法ではなく、平和で民主的な方法で主体的に解決する力を育てる。	横須賀をはじめとする日本の歴史や憲法を通じて、平和を考える。	資料を集め意見をまとめて発表。語り部(修学旅行等)、音楽・合唱(卒業式等)等
中学校	1年	地域社会における多文化共生の大切さを理解する力を育てる。	地域探求学習を通して、郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心を育む。	郷土の戦前戦後の産業・科学技術を通して、平和を考える。	見学(猿島・千代ヶ崎砲台跡等)、レンガやコンクリート技術、設計、プログラミング等
	2年	相手を尊重しながら適切な方法で自己表現する力を育てる。	平和を尊ぶ心、平和な国日本を愛する心を育む。武器の歴史から過去現在未来を考える※2。平和とは何かを考える。	我が国の歴史や文化を理解し、平和的発展について考える。	演劇・ロールプレイ(ピースメーカー、ハーモニー等のテーマ)、伝記(史跡の設計、製造者、関係者)等
	3年	平和で持続可能な国際社会を実現する力を育てる。	国際的視野に立って世界の平和と人類の発展に寄与する力を育てる。 平和とは何かを改めて考える※3。	先の大戦の惨禍、平和憲法・国際相互理解の重要性を学びつつ、平和を主体的に考える。	ディスカッション(平和の実現、国際情勢、自衛隊等)。語り部(修学旅行等)、合唱(卒業式等)等

※1 音楽・合唱について～横須賀らしく歌を楽しむとともに、命の大切さや平和を願う歌の歌詞の意味や背景などについて学習する。

※2 原始時代から今までの武器(横須賀の砲台跡、記念艦三笠等の戦争遺跡)の歴史の学習を通して、最終兵器と言われる化学兵器や核兵器を使うことの恐ろしさ、この先の未来における武器は世界を滅ぼしかねないことに気づいてもらう。

※3 平和は多義的ですが、一般的には、「戦争のない状態」を消極的平和、「平和を脅かす要因が社会からなくなった状態」を積極的平和と定義されています。この点、現在横須賀で使われている中学公民の教科書(200頁)では、生命を脅かす貧困や経済格差などの状態が改善・解消された状態が積極的平和であると書かれています。